

報道関係各位

生きているミュージアム NIFREL

- ① 《生きもので梅雨にふれる》モリアオガエルの卵からオタマジャクシが誕生！
カエルへの成長過程もお楽しみください
- ② パルマワラビーとふたごビーバーが1歳に！お客様と一緒に祝い！

大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」では、2024年5月28日(火)より、館内1階「わざにふれる」ゾーンにて、モリアオガエルの卵(卵塊)を、約1カ月間の期間限定で展示開始しました。期間中に3個の卵塊を入れ替えて展示し、卵塊からオタマジャクシが誕生する様子やカエルへと成長する過程をご覧ください。尚、現在展示中の卵塊からは、オタマジャクシが誕生し始めています。

また、2023年6月に誕生したパルマワラビーとふたごのビーバーが1歳を迎えるにあたり、特製ステッカープレゼントや、Instagramでのライブ配信を行い、お客様と一緒に誕生日をお祝いします。

①モリアオガエルの卵を期間限定で展示



モリアオガエルの卵塊(左)と、ふ化したオタマジャクシ(右)(※いずれも昨年展示したもの)

モリアオガエルは日本の固有種で、本州ほぼ全域の森林に分布しています。体長は4~8cm程度で、カエルの仲間では珍しく樹上で暮らし、4月から7月にかけて池に張り出した樹木の枝先に「卵塊」と呼ばれる粘液を泡立てた白い泡の塊を作り、その中に産卵するという独特の産卵方法で知られます。6月に産卵のピークを迎え、各地からモリアオガエルの産卵の話題が届くことから「梅雨の風物詩」とも呼ばれています。卵塊内でふ化したオタマジャクシは、雨で泡が溶けると池に落下し、水中で成長します。

ニフレルでは、2021年から毎年この時期にモリアオガエルの卵塊を展示しており、展示終了後にオタマジャクシや足のはえた幼体を採集地に返しています。独特な産卵方法と卵塊に目を向け、オタマジャクシの誕生から成長までを一緒に見守っていただくことで、モリアオガエルが暮らす里山の環境に思いをはせていただくことにつながればと考えています。



モリアオガエルの成体(成体の展示は行いません)

【本件に関する問い合わせ先】

NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 西前、渋谷

TEL:06-6876-2204 FAX:06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp

【モリアオガエルの展示について】

《展示期間》2024年5月28日(火)～約1カ月間の予定

※展示終了後は採集地に返す予定です。

《展示場所》1階「わざにふれる」ゾーン

《展示数》期間中、卵塊を計3個予定(大きさ約20cm)

《ふ化の様子を動画でご覧いただけます》

ニフレル館内でご利用いただける無料の音声ガイドシステム「QR Translator」では、過去に展示したモリアオガエルの卵塊からオタマジャクシがふ化した時の様子を映像でご覧いただけます。

【QR Translator について】

お客様自身のスマートフォンでご使用いただける音声ガイドシステムサービスを、2024年3月30日より開始いたしました。展示ゾーンに掲示している専用QRコードを読み取ることで、ニフレルのコンセプトや展示手法、モリアオガエルの他に、テッポウウオがエサを撃ち落とす音や、モンハナシャコがパンチをする音といったユニークな生きものの生態をより詳しく音声や動画でお楽しみいただけます。現在は日本語と英語の2か国語に対応しています。

【猪名川町里山倶楽部について】

展示する卵塊は、兵庫県川辺郡猪名川町の池にて、猪名川町役場及び森林ボランティア猪名川町里山倶楽部の協力を得て、採集したものです。採集に協力していただいた猪名川町里山倶楽部は、里山と親しみ理解を深め豊かな森づくりを進めることを目的に活動しており、枯れ木の伐採や遊歩道の整備、植林など山の手入れのほか、モリアオガエルの産卵など森の生きものの情報も発信しています。



卵塊を採集した猪名川町山中の池

【万博記念公園特別コラボ企画「卵を探して万博へ」ツアーを一部配信】

ニフレル年間パスポート会員を対象に、モリアオガエルの卵塊を万博記念公園へ探しに行くツアーを初開催します。万博記念公園の公園ガイドとニフレルキュレーターとともに卵塊を探し、モリアオガエルが生息する環境を観察する様子を一部、ニフレル公式インスタグラムでライブ配信いたします。

《配信日時》2024年6月8日(土)11時～(予定)

※当日の天候や状況によっては配信を中止する場合があります

②パルマワラビーとふたごビーバーが1歳に！お客様と一緒に祝い！

昨年誕生した生きものたちがスクスクと育っています。パルマワラビーの「おはぎ」は母親の「あん」とほとんど同じ大きさ、体重になりました。アメリカビーバーのふたご「ソラ」と「マメ」は両親と毛づくろいをしたり一緒に眠ったりと、家族で仲良く過ごしています。誕生から1年、スクスク成長し、それぞれの個性の魅力を発揮している生きものたちをお楽しみください。



パルマワラビーの「おはぎ」

【バースデー記念！特製ステッカーをプレゼント】
《配布期間》2024年5月31日(金)～6月2日(日)
《対象》期間中、ニフレルにご入館された方全員に
プレゼントいたします



ステッカー
(5cm×6cm)

【1歳のお祝いインスタライブ】

パルマワラビーの「おはぎ」とアメリカビーバーの「ソラ」「マメ」の成長ぶりや、最近の様子をインスタライブにてお届けします。

《配信日時》2024年6月1日(土)16時30分～
※生きものの状況により配信時間が前後する場合があります



アメリカビーバーの「ソラ(右)」と「マメ(左)」

《生きているミュージアム「NIFREL」施設概要》

【名称】NIFREL(ニフレル)(館長:小畑 洋)
【運営会社】株式会社海遊館(大阪市港区、社長:村井 弘幸)
【所在地】吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内
【営業時間】平日 10:00～18:00
土・日・祝 9:30～19:00
※いずれも最終入館は閉館の1時間前
※状況により変更する場合があります。

【休館日】年中無休。 ※年に1回設備点検のための臨時休館あり

【施設内容】展示ゾーン(いろにふれる、わざにふれる、およぎにふれる、ワンダーモーメンツ、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる 合計8ゾーン)、ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200㎡・112席)
ミュージアムショップ(NIFREL×NIFREL)

【交通】大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分

【駐車場】約4,100台(EXPOCITY 全体用駐車場)